



## ふ み き 文樹さんのブルーベリー



元高校の教師だった文樹さん、ブルーベリー狩りもやっていて、教え子が来る事もあるそうです。



大きく美味しく育ったブルーベリー。今年は1パック180gで提供します。



山を切り開いて作った畑は大規模。写真は中腹から撮った風景ですが、畑は奥の森まで続いています。

### ★1本1本、ひたすら手間をかけて

暑い夏、冷やして食べると甘酸っぱさがたまらない文樹さんのブルーベリーの季節がやってきました。

最初の頃は泥棒が木を引っこ抜いていったことがあり、またスズメに実を食べられたりと大変だったそうですが、今では泥棒はいなくなり、鳥よけテープで鳥の被害も減りました。しかし今年はイノシシや毛虫が大変だったそうです。

ブルーベリーは野菜とは違って土を酸性に保ち、かつある程度の湿気がある状態で育てる必要があります。そのため、ピートやウッドチップなど特別な資材を敷き詰めます。そこはカブトムシにとって最高の産卵場所。春になるとゴロゴロと幼虫が出てくるのです。それを食べにイノシシがやってきて根っこごと掘り返してしまうそうです。

また、「今年は毛虫が凄かったよ。無農薬だから手で捕るんだけど、切りが無かったよ」と、自然相手に苦労は絶えません。

そんな苦労を重ねながら育ててきたブルーベリー。山を切り開いて斜面に作った畑は広大で、総本数は500本を超え、手入れにはいくら時間があっても足りません。その中でも1本1本丁寧に目や手をかけて来たことで、今では木の様子で「今年はこの木を沢山実らせよう。これは来年だな」といった見通しをつくようになったそうです。特別な土作り、適切な剪定、乾燥が続く日はスプリンクラーでは間に合わないのでバケツを使っての水やりなど、とにかく手をかけて育ててきた木は、今、沢山の大きな甘酸っぱい実をつけています。夏期限定、今しか味わえない文樹さんの完熟ブルーベリー、冷やして食べて下さいね。

### 【産地情報】

◎今年は、4パック単位での保冷剤&発砲スチロールに入れるサービスは今年は無くなり、また1パック180gとなります。猛暑が続いていますので、品質保持のためにクール便での発送をご検討下さい。